

●幼稚園における在園児型一時預かり事業の「確保方策」の変更について

第5回子ども・子育て会議資料（資料①）にて提示した幼稚園における在園児型一時預かり事業の「確保方策」について、下記の理由により変更します。

○変更理由

認定こども園で実施する一時預かり事業は、「1号認定子ども」しか利用できないため、「2号認定子ども（教育希望）」分の量の見込みは、幼稚園で実施する一時預かり事業で、確保しなければならない。

※ 認定こども園で、「2号認定子ども（教育希望）」が当該事業を利用する場合は、「施設型給付」に含まれます。

○変更内容

当該事業における「量の見込み」のすべて（1号認定・2号認定（教育希望）の合計）を幼稚園と認定こども園で実施し、確保するとしていましたが、1号認定の必要量は、平成27年度から認定こども園で実施することで確保します。また、2号認定の必要量は、平成28年度から市立幼稚園で実施することで確保し、事業の充実を図っていきます。

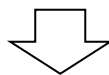
【変更する確保方策】

幼稚園と認定こども園で実施する一時預かり事業で十分に提供できるとしていましたが…

《全体：変更前》

（単位：人日/年）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1号	2,099	2,027	1,976	1,954	1,963
	2号（教育希望）	14,223	13,733	13,384	13,237	13,296
合計		16,322	15,760	15,360	15,191	15,259
②確保方策	認定こども園	27,000	44,800	44,800	45,800	45,800
	幼稚園	0	4,000	4,000	3,000	3,000
	合計	27,000	48,800	48,800	48,800	48,800
②-①		10,678	33,040	33,440	33,609	33,541



- 認定こども園での一時預かり事業 → 1号認定子ども分を確保
- 幼稚園での一時預かり事業 → 2号認定子ども（教育希望）分を確保
（実際に幼稚園に入園する子どもは、1号認定を受けて頂きます）

《全体：変更後》

（単位：人日/年）

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
①量の見込み	1号	2,099	2,027	1,976	1,954	1,963
	2号（教育希望）	14,223	13,733	13,384	13,237	13,296
合計		16,322	15,760	15,360	15,191	15,259
②確保方策	認定こども園	2,099	2,027	1,976	1,954	1,963
	幼稚園	0	13,733	13,384	13,237	13,296
	合計	0	15,760	15,360	15,191	15,259
②-①		△14,223	0	0	0	0